



そにっこ



曾爾小学校だより
No.210

【学校教育目標】

心豊かで、夢に向かって自ら学び続ける、たくましい児童の育成

令和元年9月13日

(文責 辻本 育宏)

小中学生がひとつの校舎で

小中学生がともに生活を始めて、3週間が過ぎようとしています。授業時間が小学生は45分間、中学生が50分間と少し生活のリズムが違うので、残念ながら今のところ一緒に活動するという機会はあまりありません。しかし、子ども達は、普段の中学生のお兄さん・お姉さんの生活の様子を見て、「中学生になったら、こんな風になりたい。」「こんなことをしてみたい。」と、きっと思っているのではないのでしょうか？

少し先の自分をイメージしながら生活することは、子ども達の成長にとってもよいことだと思います。私たち職員も、子ども達がより有意義な時間を過ごせるよう見守っていきたいと思います。



日独学生リーダー交流事業 (8/29)

日本とドイツの青少年団体等でリーダーとして活躍する学生・青年等が文化体験・意見交換・体験活動を行うことで相互理解と交流する活動の一環として、曾爾小学校に来校されました。曾爾少年自然の家スタッフ・日本の大学生のボランティア・ドイツの方々、計38名と小学生が交流をしました。

自己紹介から始まり、ドイツの遊びを一緒にしていました。子ども達も、最初は緊張していましたが、遊んでいく中で気持ちもほぐれ、ドイツの方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。



自己紹介をしました



教えていただいたドイツの遊びをしました。



サマースクール (8/31~9/1)

今年も奈良教育大学の先生方と学生さんに2日間来ていただいて、サマースクールが行われました。1日目の午後は、1~2年生は学校の周りにいる虫をとりに行き、大学の先生や学生さんと一緒に図鑑を使って、虫の名前を調べました。3~6年生は「曾爾川の水質と生き物を調べよう」というテーマで川へ行く予定だったのですが、連日の雨で川が増水していたために「ちりめんモンスタをさがせ！」に変更になりました。しらす漁で引き上げられた網の中には魚以外の海の生物がたくさん混ざっています。昔ちりめんじゃこを買うと、小さなタコやイカが混ざっていたことがありました。最近ではアレルギーなどの問題もあり、そのような生物(ちりめんモンスター)は、取り除かれて売られているらしいです。今回、取り除かれる前のちりめんじゃこには、どんな生物がいるのかを探してみました。中には、ほとんど見ることでできない「タツノオトシゴ」を見つけた児童もいました。

また、授業の最後に大学の先生から食物連鎖のお話などもしていただきました。



1~2年「虫とり」



3~6年「ちりめんモンスターをさがせ！」



2日目の午前、3~6年生が2つのグループに分かれて「一刀切り図形」と「~はねでわかる~ 昆虫のちがい」の授業を受けました。「一刀切り図形」とは、折り紙を何回か折ってはさみで切り取ると、サカナやハートの形になっているというものです。切る場所や角度を少し変えるだけで、一人ひとり違うものができて楽しそうでした。「昆虫のちがい」は、昆虫の標本を観察したり、スケッチをしたりして、はねの特徴のちがいによる昆虫のなかま分けについて教えていただきました。



3~6年「一刀切り図形」



3~6年「~はねでわかる~ 昆虫のちがい」



2日間、大学の先生や学生さんから高度な内容もありましたが、子ども達が興味を持って取り組めるように工夫をしていただき、私もあっという間に時間が過ぎてしまいました。

奈良教育大学のみなさん、本当にありがとうございました。

今後の予定 (抜粋)

- 9/20 (金) 全校遠足 (モクモク手作りファーム)
- 26 (木) 学習参観日・人権教育講演会
- 10/4 (金) 視力検査
- 8 (火) マラソン前内科検診
- 10 (木) かけ足チャレンジ開始

